

ま え が き

県教育委員会は、昭和52年度から昭和54年度までの3か年間にわたる、教育行政の方向を暫定的に定めた「教育行政の暫定見通し」（昭和51年度策定）に基づき、「豊かな人間形成をめざす生がい教育」の理念のもとに本県の教育・文化の向上を目指して、教育行政を推進して参りました。

特に昭和52年度は、教職員の指導力の向上と教育活動の充実、高等学校進学率の向上と施設・設備の充実、養護教育の拡充、幼稚園教育の拡充、社会教育機会の拡充、社会体育の振興、芸術文化の振興、全国高等学校総合体育大会開催準備の推進等を重点施策に掲げて取り組んで参りましたが、幸い、教育関係者の御理解と御協力を得て、各分野に成果をもたらすことができましたことは、まことに感謝にたえません。

具体的な行政実績としては、教育機会の拡充策に伴う幼稚園担当指導主事の設置養護教育室の新設及び指導主事（本庁3名、教育事務所に兼務指導主事7名）の配置盲・ろう・養護学校の新設と適正配置、在宅訪問指導員の増員、新設高校（郡山）と学科統合等でありました。

また、教育水準の向上策としては、改訂学習指導要領の伝達講習や教員研修の充実、教員派遣の拡充、教職員定数の増、教育センター研修内容の体系化と充実、教職員福利厚生事業の拡充、施設等整備に伴う父母負担の軽減等もあげられます。

本誌は、こうした過去1年間の教育行政の成果を記録したもので、本県教育の軌跡ともいうべきものであります。

今後、この実績の上に更に特段の努力を累加されることを祈り、おおかたの御利用をお願いするしだいです。

昭和53年10月30日

福島県教育委員会教育長 辺見 栄之助